

## 宮古発

### リアス線のダイヤ発表



三陸鉄道リアス線開業の100日前のこの日、リアス線のダイヤが発表されました。久慈から大船渡の盛までの直通列車は上下合わせて5本運行されます。所要時間は4時間半前後となっています。また、JRから経営移管される釜石・宮古間では、震災前と比べ3本増発となります。リアス線は来年3月23日に開業します。(12/13 ニュースエコー)

## 宮古発

### お飾りづくり最盛期

宮古では和紙に七福神や宝船を描いた縁起物のお飾りづくりが最盛期を迎えています。この地方では毎年正月に神棚のお飾りを新しいものに張り換え、1年の家内安全や大漁を祈願します。今年も残すところ半月ほどなり、今が作業のピークです。お飾りは27日から宮古市の魚菜市場で開かれる恒例のお飾り市で販売されます。(12/14 ニュースエコー)



## 久慈発

### 三鉄こたつ列車が運行

三陸鉄道の冬の名物こたつ列車の運行が始まり、北リアス線久慈駅で出発式が行われました。列車には台湾の観光客などおよそ30人が乗り込み、青い海原が広がる景色を堪能しました。また、野田村に伝わる伝統行事の「なもみ」も登場して乗客を歓迎しました。来週からは南リアス線で初めての洋風こたつ列車が運行されます。(12/15 ニュースエコー)



## 釜石発

### 天然マグロが格安で

世界の海で捕れた天然マグロが格安で手に入る「まぐろ祭り」が釜石で開かれました。市内の水産会社が開いたもので、今年で7回目。祭りが始まるころには200人ほどの行列でき、市価の半値の本マグロやミナミマグロを次々と買い求めていました。また、マグロのカマの詰め放題も初めて行われ会場は活気に包まれていました。(12/16 ニュース)



## 大船渡発

### 漁火イルミネーション



サンマ漁で使う集魚灯などを使った「漁火イルミネーション」が16日から大船渡で始まりました。市の防災観光交流センター前の広場には「希望の塔」と名付けられた高さ12メートルのイルミネーションが飾られ、点灯式が行われました。漁火イルミネーションは商業施設や大船渡市魚市場など市内7か所で年明け1月6日まで続けられます。(12/17 ニュース)

## 釜石発

### 7月に日本 vs フィジー

釜石鶴住居復興スタジアムで来年7月27日に日本対フィジーの試合を行うラグビーの統括団体ワールドラグビーが発表しました。来年9月のW杯に先立って行われる国際大会＝パシフィック・ネーションズカップの一戦です。フィジーはW杯でも釜石でウルグアイと対戦することになっていて、本番を見据えたテストマッチとなりそうです。(12/18 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122